

# 支所だより

## 東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

### 花と緑に親しむ

#### ～ 東予地域緑を守り育てる会 ～

緑化普及啓発活動の一環として「花づくり教室」を開催しています。

平成26年度は、丹原高等学校の浅原先生を講師にお迎えし、農業クラブの学生さんたちにもご協力いただき、「苔玉づくり」に挑戦しました。

まず農業クラブの竹林整備と竹活用の発表があり、環境保全と省エネ効果を考えた活動の話に参加者は熱心に



聞き入っていました。

「苔玉づくり」では農業クラブの学生さんに手伝ってもらいながら、個性豊かな苔玉をつくりました。一つの大きな玉に植物を詰め込んだ大作や、器用に2～4個の玉を使ったかわいらしい作品など、皆さん嬉々として作品づくりに取り組んでいました。

教室は毎年11月頃に東予地域の公民館で募集し、12月に開催します。作品の内容は毎年変わりますので、興味のある方は、ぜひご参加ください。



## 丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

### 若い人たちにこそ見てもらいたい

#### ～ 戦没者遺品・遺作展 ～

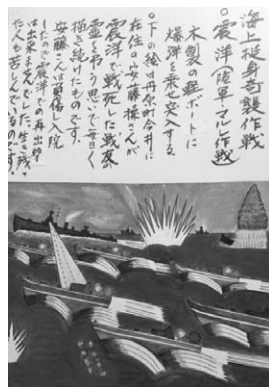
今年は戦後70年の節目の年です。4月8日～17日の間、丹原地区老人クラブ会員の中で戦没者遺族の方々が中心となり、丹原公民館2階ホールで「戦後70年記念戦没者遺品・遺作展」を開催しました。

太平洋戦争では丹原町内からも多くの方が出征し、そのうち737人が尊い命を落としました。その方々を思い、一字一字慰霊の気持ちを込めて書かれた戦没者氏名が掲示され、遺族が大



切に保管してきた数々の遺品・遺作（故人作の絵画、詩集の余白に書かれた日記、丹原町に残した家族を思う手紙など）とともに、訪れた人に静かに平和の尊さを語りかけていました。また、戦争を知らない世代が年配の方の壮絶な戦争体験談に一心に耳を傾ける姿も見られ、主催者の「戦争の語り部が減る中で自分たち戦争体験者が若い人に戦争の記憶を伝えていかなければならない」との思いが伝わる記念展となりました。

この展示は、8月に西条郷土博物館でも開催予定です。



## 小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

### 遺跡・出土品からみる小松の歴史

#### ～ 小松川藤木遺跡 ～

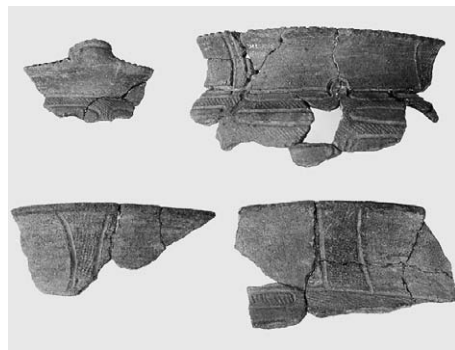
石鎚山系の綱付山を源流とする小松川は、江戸時代に、小松藩が城下町づくりの際に築造して流れを変えた人工河川です。この川の藤木橋上流の右岸河川敷に小松川藤木遺跡があります。

昭和63年の小松川護岸工事に伴う発掘調査で、竪穴式住居跡や炉跡が発見されるとともに、壺や鉢などの土器片が多数出土し、縁帯文（えんたいもん）土器の文様などから縄文時代後期（約4,700～3,400年前）の集落と分かりました。縄文時代の集落は、水害を避け、狩猟のため山麓や台地上に築かれることが一般的ですが、小松川藤木遺跡は、道具や生活形態の変化と

ともに次第に平地に住居を移した珍しい住居跡です。発掘調査は河川敷周辺だけでしたが、遺跡は護岸を越えさらに広がっていた可能性もあります。

遠い昔から人々が生活していた痕跡は、道前平野の歴史を知る上で貴重な証しといえます。

発掘されたこれらの縄文土器は、小松温芳図書館・郷土資料室で保存しています。



発掘調査時に発見された土器片の一部